

自主調査結果サマリー

Z世代の意識と行動 ～Y世代との違いとは？～

2019年 5月24日



we find true feelings

ジャストリサーチサービス株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川2-20-7 TOKOHビル6F

TEL 03-3553-3737 FAX 03-3553-3494

URL <https://www.just-research.co.jp/>

(一社)日本マーケティング・リサーチ協会正会員：会員番号20081



1. 調査目的 : 新たな世代と言われる「Z世代」の意識と行動の特徴を、
一つ前の世代である「Y世代」との比較から把握する。
2. 調査方法 : WEB調査
3. 調査エリア : 首都圏（1都3県）
4. 調査対象 : 男女15～34歳（中学生は除く）
Y世代：25～34歳
Z世代：15～24歳と定義する
※関連職排除
5. サンプルサイズ : 計437s

※世代別の有効回収数は下記の通り

	男性	女性	合 計
Y世代	111s	107s	218s
Z世代	109s	110s	219s
合計	220s	217s	437s

6. 調査実施期間 : スクリーニング調査 - 2019年 4月 18日 (木) ～ 4月 24日 (水)
本調査 - 2019年 4月 24日 (水) ～ 4月 30日 (火)

Z世代の意識と行動①

Y世代と比べZ世代は・・・

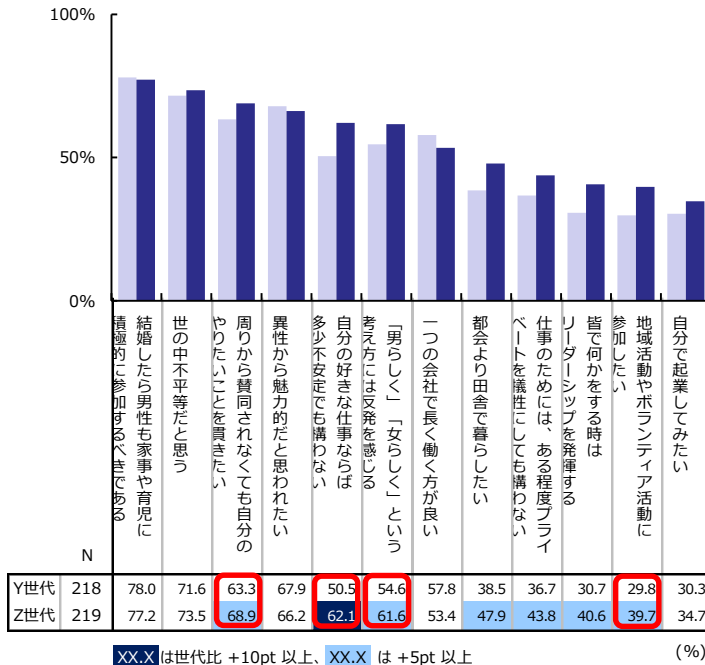
- ◆「自分のやりたいことを貫きたい」「好きな仕事なら不安定でも構わない」など、**より自分らしさを大切にしている**様子が窺える。
- ◆「異性の友人がいる」「SNSだけで繋がっている友人がいる」など、**幅広い交友関係**の他、「男(女)らしくという考え方に反発を感じる」「デートは割り勘が当たり前」のように**従来の男女関係にとられない**様子も見取れる。
- ◆その他、「地域活動やボランティア活動に参加したい」「力を入れている趣味がある」「海外留学したい/海外で働きたい」なども高い。

Q. あなたの考え方や価値観、普段の生活における行動などについてお伺いします。以下にあげる項目それぞれについて、どの程度あてはまるのかをお答えください。(各SA)

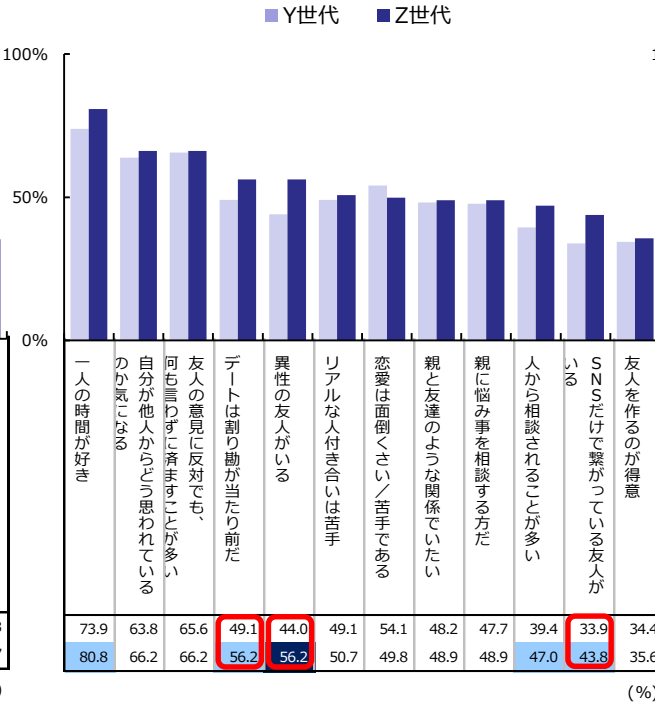
※現在働いていない方は、仕事に関しては「もし自分が働いたら」ということでお答えください。

※Top2 Box（あてはまる+ややあてはまる）の値

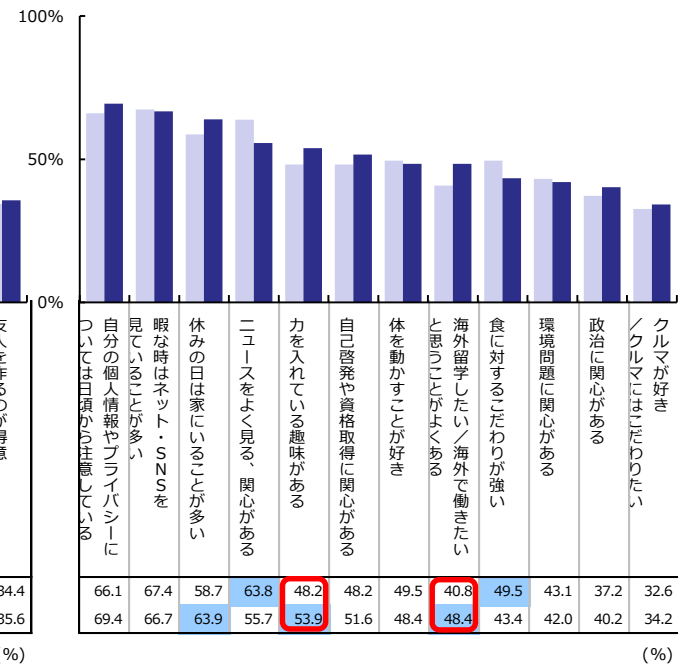
<人生観・価値観について>



<人との付き合い方について>



<普段の生活スタイルや関心ごとについて>



Y世代と比べZ世代は・・・

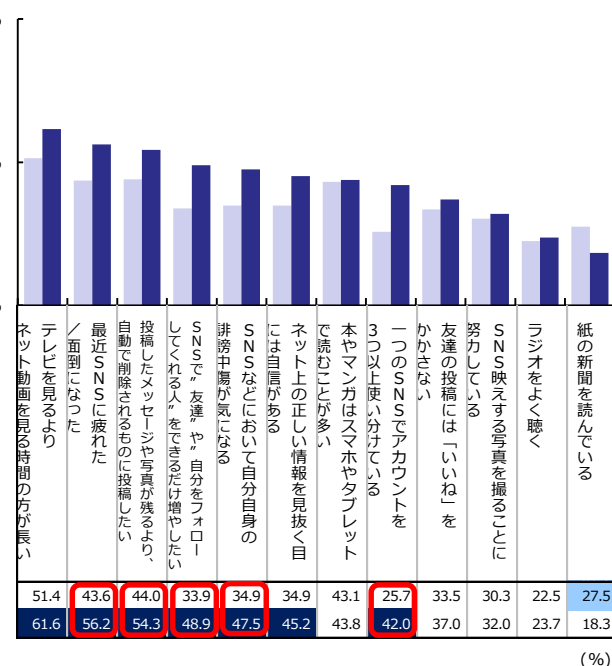
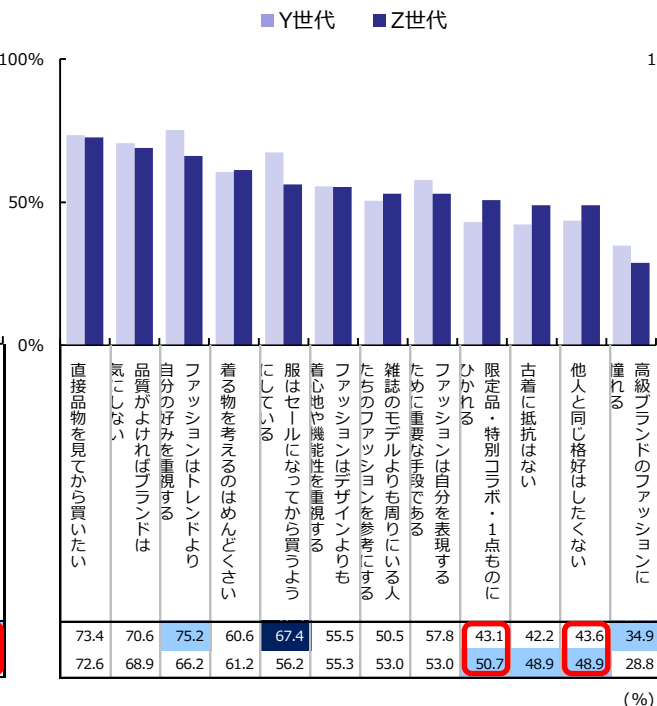
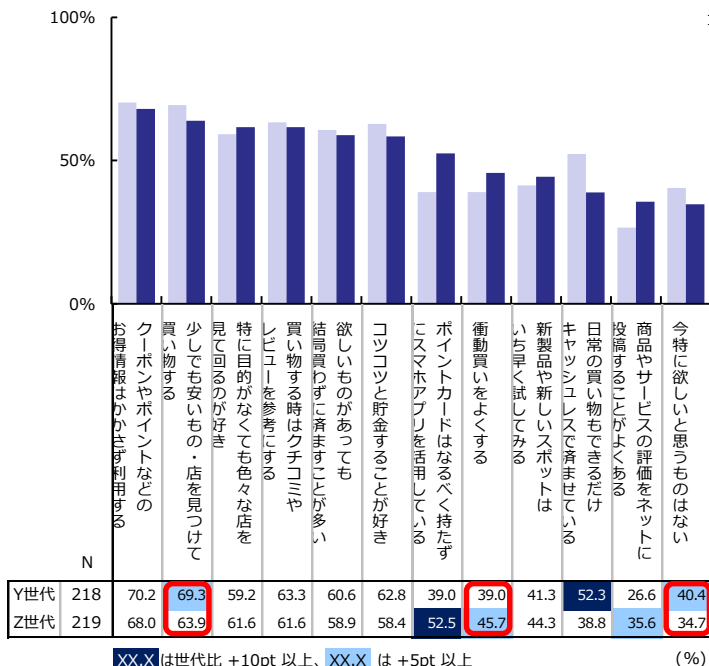
- ◆「衝動買い」をよくしており、「少しでも安いモノ・店を見つける」努力はY世代の方がしているなど、**節約意識はそれほど高くない**ようで、今欲しいものも多い。
- ◆「限定品にひかれる」「他人と同じ格好はしたくない」など、**ファッションでも個性・自分らしさを意識**。
- ◆「SNSで友達やフォローしてくれる人を増やしたい」「アカウントを3つ以上使い分けしている」「自動で削除されるものに投稿したい」など**SNSの利用度やセキュリティへの意識が高い**一方で、「誹謗中傷が気になる」「最近SNSに疲れた/面倒になった」など**SNS疲れ**の様子も。

Q. あなたの考え方や価値観、普段の生活における行動などについてお伺いします。以下にあげる項目それぞれについて、どの程度あてはまるのかをお答えください。（各SA）

※現在働いていない方は、仕事に関しては「もし自分が働いたら」ということでお答えください。

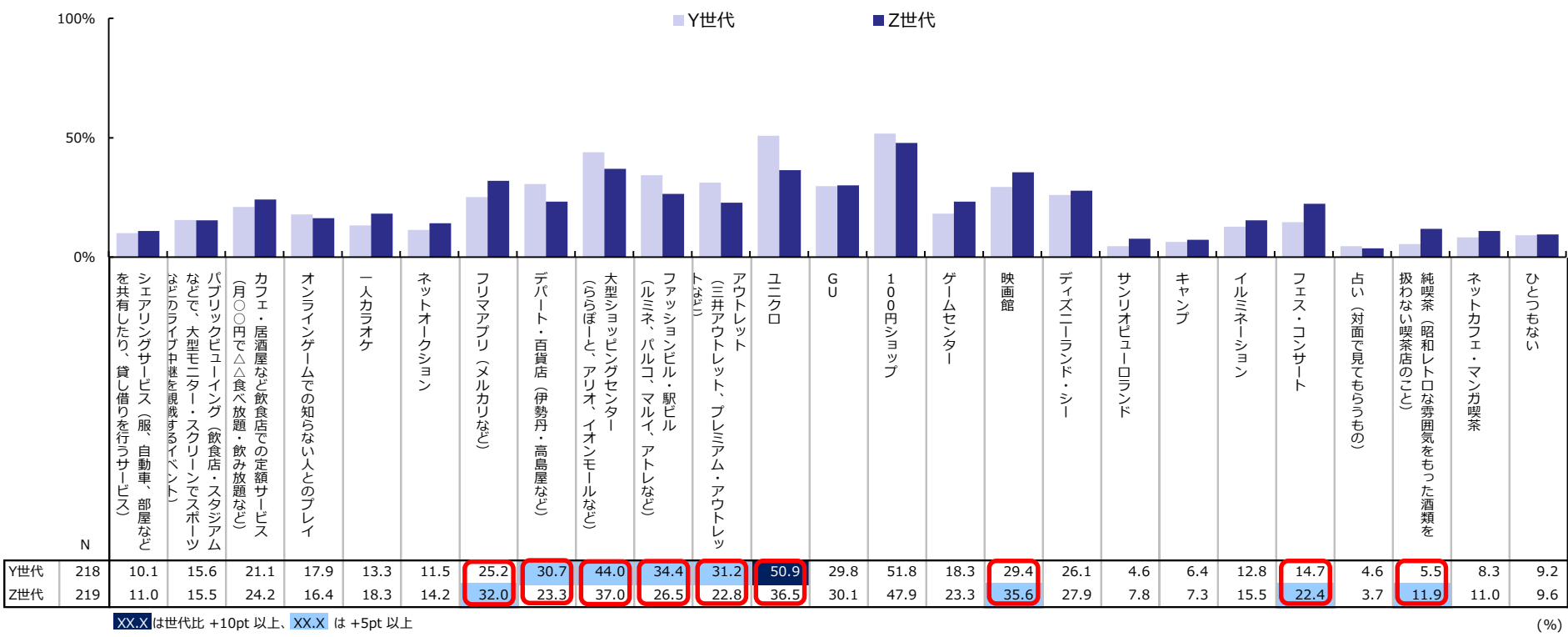
※Top2 Box（あてはまる+ややあてはまる）の値

<普段のお買い物やお金の使い方について>



- ◆ 衝動買いをよくする<Z世代>では<Y世代>より「フリマアプリ」の利用が多い。
- ◆ <Z世代>では「ユニクロ」の利用が少なく、<Y世代>と15ポイント近い差がみられる。
- ◆ その他、「デパート」「大型ショッピングセンター」「ファッションビル・駅ビル」「アウトレット」といったリアル店舗の利用度は<Y世代>より低く、「映画館」「フェス・コンサート」「純喫茶」は逆に高くなっている。（但しこれは、<Z世代>は、まだ学生が多いことが大きな要因とも考えられる）

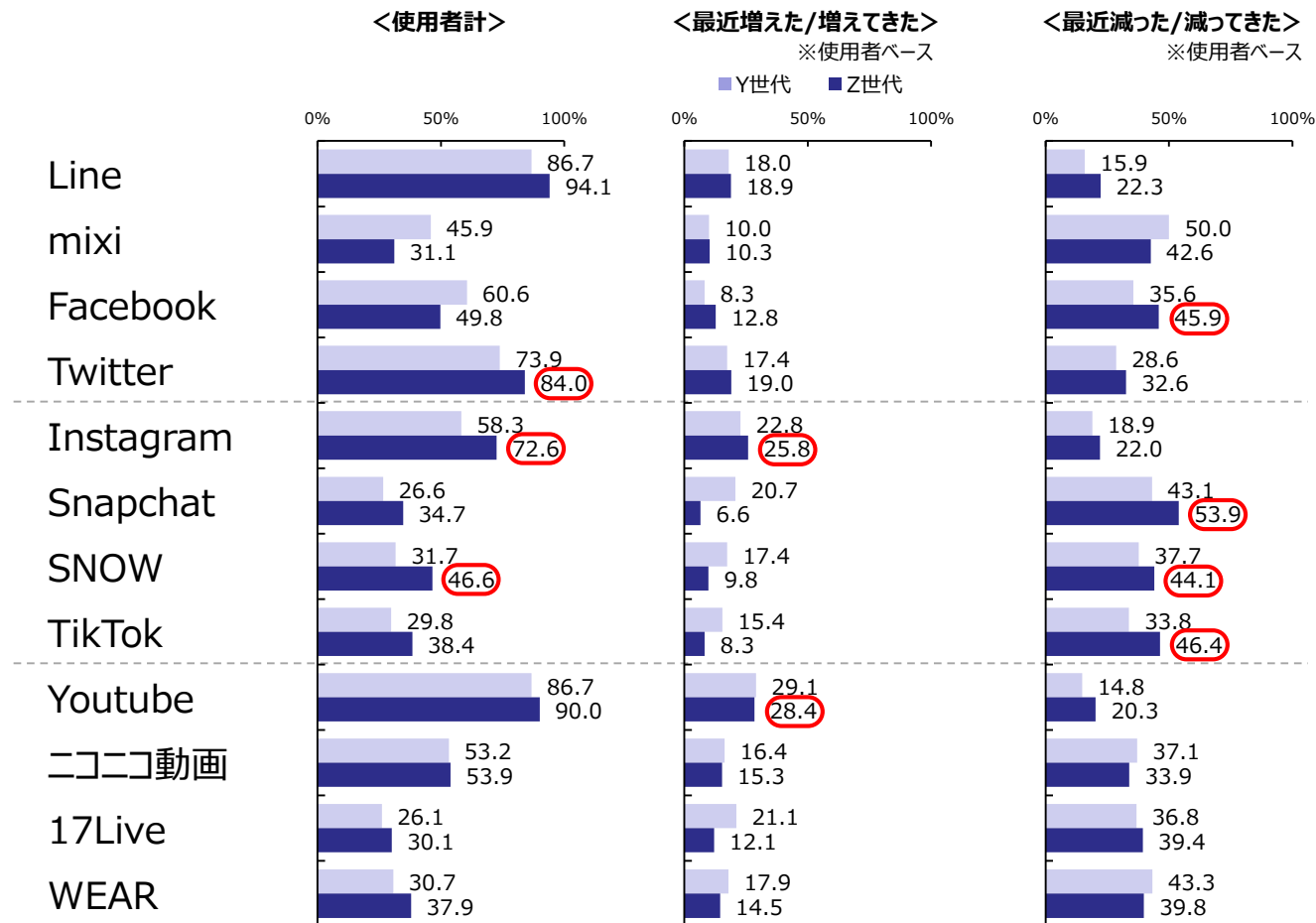
Q. 以下にあげるサービス・施設の中から、あなたが普段利用することがあるものをすべてお答えください。（各MA）



Y世代と比べZ世代は・・・

- ◆「Twitter」「Instagram」「SNOW」の使用率が高い。
- ◆「Facebook」「Snapchat」「SNOW」「TikTok」は使用者の約半数が離脱しつつある。
- ◆一方、「Instagram」「Youtube」は、「増えた」が「減った」を若干であるが上回っており、今後も継続して使用されていく様子が窺える。

Q. 以下にあげるSNS・アプリ・動画共有サービスを利用する頻度・機会に最近変化はありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つだけお答えください。（各SA）



当調査では以下の様な質問も聴取しております。 こちらのデータもご提供できますので、お気軽にお問合せください。

質問項目（選択肢一部抜き出し）

■動画配信サービス利用状況 ■趣味 ■性格 ■同居家族 ■1ヶ月のお小遣い ■性別 ■年齢 ■職業 ■未婚 ■子供の有無